



2019年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月15日

上場会社名 株式会社 ヤマノホールディングス
 コード番号 7571 URL <http://www.yamano-hd.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼最高経営責任者 (氏名) 山野 義友
 (CEO)

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理副本部長 (氏名) 岡田 充弘 TEL 03-3376-7878

定時株主総会開催予定日 2019年6月27日 配当支払開始予定日 2019年6月28日

有価証券報告書提出予定日 2019年6月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (2019年5月24日開催予定機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	14,105	5.6	245	11.8	265	0.2	141	71.9
2018年3月期	14,947	43.2	219	39.6	265	24.1	502	166.1

(注) 包括利益 2019年3月期 18百万円 (97.1%) 2018年3月期 637百万円 (196.8%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	4.14		9.1	3.7	1.7
2018年3月期	14.75		36.3	2.8	1.5

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 百万円 2018年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	7,154	1,511	21.1	44.40
2018年3月期	7,396	1,595	21.6	46.86

(参考) 自己資本 2019年3月期 1,511百万円 2018年3月期 1,595百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	153	28	16	1,927
2018年3月期	57	2,534	1,541	2,093

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期		0.00		3.00	3.00	102	20.3	7.4
2019年3月期		0.00		2.00	2.00	68	48.3	4.4
2020年3月期(予想)		0.00		2.00	2.00		45.4	

注1. 2018年3月期の期末配当には、記念配当1.00円が含まれております。

2. 前連結会計年度より新たに業績連動型株式報酬制度を導入しており、配当金総額には信託口に対する配当金支払額が含まれております。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	0.8	250	2.0	240	9.7	150	6.3	4.41

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	34,497,058 株	2018年3月期	34,497,058 株
期末自己株式数	2019年3月期	456,869 株	2018年3月期	456,869 株
期中平均株式数	2019年3月期	34,040,189 株	2018年3月期	34,040,191 株

前連結会計年度より新たに業績連動型報酬制度「株式給付信託(BBT)」を導入しており、株主資本に自己株式として計上されている「株式給付信託(BBT)」に残存する自社の株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。また、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております。

(参考)個別業績の概要

2019年3月期の個別業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	9,957	2.2	175	154.0	255	47.1	171	76.5
2018年3月期	9,739	21.6	68	26.2	173	13.6	730	247.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	5.04	
2018年3月期	21.47	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2019年3月期	5,952		1,528	25.7			44.89	
2018年3月期	6,096		1,582	25.9			46.48	

(参考) 自己資本 2019年3月期 1,528百万円 2018年3月期 1,582百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・決算補足説明資料を速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 次期の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. その他	17
役員の異動.....	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における国内経済は、雇用環境の改善を背景に景気は緩やかな回復基調が続きましたが、米中貿易摩擦の影響などにより、企業収益に減速感が広まり、先行き不透明な状況で推移しました。

個人消費も持ち直しの動きがみられるものの、先行き不透明感による消費者の節約志向は依然として根強く、企業間競争も一段と激化するなど、厳しい環境が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、従来からの営業施策である「ソフトと価値の提供」によって既存顧客との信頼関係強化に努める一方で、新規顧客獲得をグループ共通の課題として取り組んで参りました。

当連結会計年度の連結業績は、前期にスポーツ事業を事業譲渡した影響に加え、DSM事業での拠点統廃合による売上減等により、売上高は141億5百万円（前期比5.6%減）となりました。利益面では、売上高減少に伴う販売費減やスポーツ事業の赤字影響がなくなったこと等により、営業利益は2億45百万円（前期比11.8%増）、経常利益は2億65百万円（前期比0.2%増）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益については、前連結会計年度に計上した事業撤退損や卸売子会社の株式を一部売却したことによる売却益等の影響が当連結会計年度にはなくなったことにより、1億41百万円（前期比71.9%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

・美容事業

美容事業では、当連結会計年度において、2018年7月1日付で、都内にネイルサロン3店舗を経営する株式会社みうらを連結子会社として加えました。一方、既存美容事業では、出店地区の再開発に伴う店舗閉鎖が2店舗あったことや、第2四半期での台風などの天候不順による影響、また通期を通じてのスタッフ不足による機会損失の影響によって来店客数減（前期比95.2%）があったこと等により、売上高は19億47百万円（前期比4.9%減）となりました。利益面では、売上高減少による影響の他、新たに子会社となった株式会社みうらにおいて、グループへの管理統合に伴う一時的なコストが発生したこと等があり、セグメント利益は3百万円（前期比92.0%減）となりました。

・和装宝飾事業

和装宝飾事業においては、和装小売部門では、店頭販売はやや不調であったものの、全国18会場で実施された合同大型催事において、来場客数が前期比112%、売上高が前期比110%と好調であったため、売上高は前期比100.0%と堅調に推移しました。宝飾小売部門では、一部地方百貨店の集客低下があったこと等により、売上高は前期比78.1%と苦戦しました。その結果、セグメント売上高は104億43百万円（前期比0.8%減）となり、セグメント利益は、11店舗で改装を行ったことに伴う備品購入費用があったこと等により、3億2百万円（前期比18.4%減）となりました。

なお、和装宝飾事業では、2018年11月より「集金保証型ショッピングクレジット」を導入し、割賦手数料が新たな収益として獲得されることとなりました。当期の収益に与える影響は軽微ですが、取扱高は順調に推移しており、将来的に和装宝飾事業の収益底上げに寄与すると考えております。

・DSM事業

DSM事業においては、新商材の開発や販売チャネルの変換を喫緊の課題として取り組んでおりますが、新規顧客の獲得や販売員補強は依然厳しい状況が続いており、当連結会計年度においても事業所統廃合を7拠点行いました。その結果、売上高は17億6百万円（前期比14.3%減）となりましたが、セグメント利益は、運営コストの削減に努めたこともあり0百万円（前期はセグメント損失22百万円）となり、赤字は解消いたしました。

・その他の事業

その他の事業では、株式会社ヤマノセイビングの前払い式特定取引業による手数料収益のほか、2018年8月に設立された一般社団法人日本技術技能教育協会を新たに連結の範囲に含め、着物着付教室の運営に伴う収益を加えております。その結果、売上高は6百万円（前期比1559.1%増）、セグメント損失7百万円（前期はセグメント損失13百万円）となりました。

なお前期にスポーツ事業の事業譲渡を実行しているため、第1四半期連結累計期間より報告セグメント「スポーツ事業」を廃止しております。前期におけるスポーツ事業の売上高は3億78百万円、セグメント損失は1億36百万円であります。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べて2億42百万円減少し71億54百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1億65百万円減少、受取手形及び売掛金が2億88百万円増加、商品及び製品が66百万円減少、投資有価証券が1億87百万円減少、敷金及び保証金が70百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて1億58百万円減少し56億43百万円となりました。これは主に、短期借入金が2億80百万円増加、1年内返済予定の長期借入金が2億88百万円増加、前受金が64百万円減少、未払金が65百万円減少、未払法人税等が51百万円減少、長期借入金が3億66百万円減少、繰延税金負債が37百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ83百万円減少し15億11百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する当期純利益計上による利益剰余金1億41百万円の増加、剰余金の配当1億2百万円、その他有価証券評価差額金1億22百万円の減少によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前当期純利益が2億18百万円となりましたが、前連結会計年度末に比べ1億65百万円減少し19億27百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、1億53百万円（前期は57百万円の収入）となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益2億18百万円、売上債権の増加額2億87百万円、たな卸資産の減少額68百万円、前受金の減少額64百万円、法人税等の支払額1億10百万円があったことによるものです。

なお売上債権の増加は、「集金保証型ショッピングクレジット」の導入により売掛金の回収が長期化することによる影響であり、係る債権回収が一巡し平準化するまで当面の間は、売上債権の増加によって営業活動によるキャッシュ・フローはマイナスとなることが見込まれます。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は28百万円（前期は25億34百万円の収入）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出61百万円、無形固定資産の取得による支出4百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出4百万円、敷金及び保証金の差入による支出14百万円、差入保証金の回収による収入78百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、16百万円（前期は15億41百万円の支出）となりました。

これは主に、短期借入金の増加額2億80百万円、長期借入れによる収入1億円、長期借入金の返済による支出2億1百万円、配当金の支払額1億1百万円によるものであります。

(4) 次期の見通し

2020年3月期の業績見通しにつきましては、売上高は前期比0.8%減の140億円、営業利益は前期比2.0%増の2億50百万円、経常利益は前期比9.7%減の2億40百万円、親会社に帰属する当期純利益は前期比6.3%増の1億50百万円を計画しております。

売上高につきましては、和装宝飾事業で引き続き堅調に推移することを見込んでおりますが、美容事業及びDSM事業での店舗数・拠点数の減少に伴い、若干の減収を予想し、利益面では、ほぼ当期並を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの主要業務は現在日本に限定されており、海外での活動に重要性がないことから当面は日本基準を採用することとしております。なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、今後の外国人株主比率及び国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,582,035	2,416,632
受取手形及び売掛金	1,230,798	1,519,573
商品及び製品	1,376,305	1,309,830
原材料及び貯蔵品	1,622	-
その他	234,798	231,325
貸倒引当金	△15,887	△17,694
流動資産合計	5,409,672	5,459,666
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	964,695	958,598
減価償却累計額	△652,528	△668,803
建物及び構築物(純額)	312,167	289,794
工具、器具及び備品	208,875	209,934
減価償却累計額	△182,180	△184,613
工具、器具及び備品(純額)	26,695	25,320
土地	37,411	37,411
リース資産	43,851	47,186
減価償却累計額	△34,312	△29,150
リース資産(純額)	9,538	18,035
建設仮勘定	543	-
有形固定資産合計	386,356	370,563
無形固定資産		
のれん	125,400	117,486
その他	28,771	10,436
無形固定資産合計	154,171	127,923
投資その他の資産		
投資有価証券	431,843	244,296
長期貸付金	7,742	6,371
繰延税金資産	-	9,776
敷金及び保証金	972,218	901,643
その他	48,932	48,714
貸倒引当金	△14,178	△14,467
投資その他の資産合計	1,446,557	1,196,335
固定資産合計	1,987,086	1,694,821
資産合計	7,396,759	7,154,488

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,585,959	1,608,872
電子記録債務	286,497	289,002
短期借入金	-	280,000
1年内償還予定の社債	22,400	22,400
1年内返済予定の長期借入金	165,000	453,204
未払金	547,581	482,019
前受金	1,631,094	1,566,377
未払法人税等	77,260	26,248
賞与引当金	93,652	89,920
ポイント引当金	41,045	33,373
株主優待引当金	5,193	5,459
資産除去債務	22,334	11,596
その他	358,824	235,189
流動負債合計	4,836,843	5,103,662
固定負債		
社債	49,400	27,000
長期借入金	472,000	105,460
長期末払金	97,936	85,439
役員株式給付引当金	13,322	18,620
繰延税金負債	37,173	-
資産除去債務	264,790	260,476
その他	30,061	42,501
固定負債合計	964,684	539,498
負債合計	5,801,527	5,643,161
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	979	979
利益剰余金	1,397,293	1,435,749
自己株式	△53,988	△53,988
株主資本合計	1,444,285	1,482,741
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	150,946	28,585
その他の包括利益累計額合計	150,946	28,585
非支配株主持分	-	-
純資産合計	1,595,231	1,511,326
負債純資産合計	7,396,759	7,154,488

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	14,947,485	14,105,187
売上原価	7,260,543	6,729,244
売上総利益	7,686,941	7,375,943
販売費及び一般管理費	7,467,564	7,130,772
営業利益	219,377	245,170
営業外収益		
受取利息及び配当金	57,034	3,040
受取地代家賃	2,718	2,032
受取補償金	-	25,735
その他	13,359	6,509
営業外収益合計	73,112	37,317
営業外費用		
支払利息	12,229	7,521
その他	15,098	9,206
営業外費用合計	27,328	16,728
経常利益	265,162	265,759
特別利益		
固定資産売却益	43,858	-
関係会社株式売却益	499,637	-
その他	27	-
特別利益合計	543,523	-
特別損失		
固定資産除却損	479	129
減損損失	47,716	27,618
事業撤退損	92,718	-
支払補償金	25,087	15,004
店舗閉鎖損失	754	3,659
その他	14,172	650
特別損失合計	180,928	47,061
税金等調整前当期純利益	627,757	218,697
法人税、住民税及び事業税	91,548	59,899
法人税等調整額	33,965	17,730
法人税等合計	125,514	77,629
当期純利益	502,243	141,068
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	502,243	141,068

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	502,243	141,068
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	141,254	△122,360
為替換算調整勘定	△6,081	-
その他の包括利益合計	135,173	△122,360
包括利益	637,416	18,707
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	637,416	18,707
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	100,000	—	1,111,671	△53,008	1,158,662	9,691	6,081	15,772	1,334,242	2,508,678
当期変動額										
剰余金の配当			△68,080		△68,080					△68,080
親会社株主に帰属する当期純利益			502,243		502,243					502,243
自己株式の取得				△0	△0					△0
自己株式の処分		979		19,028	20,008					20,008
株式給付信託による自己株式の取得				△20,008	△20,008					△20,008
連結子会社株式の売却による持分の増減			△91,345		△91,345					△91,345
連結子会社株式の追加取得による持分の増減			△57,195		△57,195					△57,195
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						141,254	△6,081	135,173	△1,334,242	△1,199,069
当期変動額合計	—	979	285,622	△980	285,622	141,254	△6,081	135,173	△1,334,242	△913,446
当期末残高	100,000	979	1,397,293	△53,988	1,444,285	150,946	—	150,946	—	1,595,231

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	100,000	979	1,397,293	△53,988	1,444,285	150,946	—	150,946	—	1,595,231
当期変動額										
剰余金の配当			△102,612		△102,612					△102,612
親会社株主に帰属する当期純利益			141,068		141,068					141,068
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△122,360	—	△122,360	—	△122,360
当期変動額合計	—	—	38,455	—	38,455	△122,360	—	△122,360	—	△83,904
当期末残高	100,000	979	1,435,749	△53,988	1,482,741	28,585	—	28,585	—	1,511,326

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	627,757	218,697
減価償却費	92,791	81,895
減損損失	47,716	27,618
のれん償却額	56,251	52,250
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,434	△4,332
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	2,196	△7,671
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,952	2,095
受取利息及び受取配当金	△57,034	△3,040
支払利息	12,229	7,521
有形固定資産除却損	479	129
有形固定資産売却損益 (△は益)	△43,858	-
関係会社株式売却損益 (△は益)	△499,664	-
事業撤退損	92,718	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△35,399	△287,289
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△118,588	68,400
仕入債務の増減額 (△は減少)	△63,296	24,814
前受金の増減額 (△は減少)	△157,251	△64,717
その他	100,633	△154,322
小計	67,068	△37,951
利息及び配当金の受取額	57,034	3,040
利息の支払額	△12,399	△7,652
法人税等の支払額	△53,943	△110,931
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,759	△153,494
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△93,073	△61,984
有形固定資産の売却による収入	-	1,175
無形固定資産の取得による支出	△1,110	△4,230
投資有価証券の売却による収入	9,133	487
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	1,183,449	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△4,393
事業譲渡による収入	1,423,918	-
貸付けによる支出	△320	-
貸付金の回収による収入	2,876	1,451
敷金及び保証金の差入による支出	△33,663	△14,244
差入保証金の回収による収入	62,616	78,706
ゴルフ会員権の取得による支出	△5,920	-
その他	△13,481	△25,281
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,534,426	△28,311

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△105,500	280,000
長期借入れによる収入	-	100,000
長期借入金の返済による支出	△1,219,000	△201,809
社債の償還による支出	△38,400	△22,400
自己株式の取得による支出	△20,008	-
自己株式の売却による収入	20,008	-
配当金の支払額	△67,443	△101,259
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△57,195	-
その他	△53,750	△38,128
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,541,288	16,402
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,050,896	△165,403
現金及び現金同等物の期首残高	1,042,388	2,093,285
現金及び現金同等物の期末残高	2,093,285	1,927,882

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に商品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う商品・サービスについて国内の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は、事業本部を基礎とした商品・サービス別のセグメントから構成されており、「美容事業」、「和装宝飾事業」、「DSM事業」の3つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「美容事業」は、美容室、ネイルサロンの経営を行っております。「和装宝飾事業」は、呉服、和装小物、宝飾品、時計、毛皮等の販売を行っております。「DSM事業」は健康関連や生活関連商品の訪問販売及び催事販売を行っております。

(3) 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度においてスポーツ事業から撤退したことに伴い、報告セグメント「スポーツ事業」を廃止しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産及びその他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益(のれん償却前)ベースの数値であります。また、セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産及びその他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				
	美容	和装宝飾	D S M	スポーツ	計
売上高					
外部顧客への売上高	2,046,992	10,527,156	1,991,020	378,687	14,943,856
セグメント間の内部 売上高又は振替高	70	—	—	—	70
計	2,047,063	10,527,156	1,991,020	378,687	14,943,927
セグメント利益又は損失 (△)	41,031	370,235	△22,322	△136,214	252,730
セグメント資産	579,306	3,798,415	337,528	—	4,715,250
その他の項目					
減価償却費	19,708	47,388	7,243	1,777	76,117
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	15,756	56,022	1,850	11,600	85,228

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
売上高				
外部顧客への売上高	414	14,944,271	3,213	14,947,485
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,567	11,638	△11,638	—
計	11,981	14,955,909	△8,424	14,947,485
セグメント利益又は損失(△)	△13,775	238,954	△19,576	219,377
セグメント資産	994,740	5,709,990	1,686,768	7,396,759
その他の項目				
減価償却費	—	76,117	16,674	92,791
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	—	85,228	6,090	91,318

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業及びその他の事業等を含んでおります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△19,576千円には、のれんの償却額△45,600千円、各報告セグメントに配分していない全社費用26,023千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額1,686,768千円には、セグメント間債権の相殺消去△1,447,497千円、各報告セグメントに配分していない本社資産3,134,265千円が含まれております。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額6,090千円は、本社管理設備への投資額であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				
	美容	和装宝飾	D S M	スポーツ	計
売上高					
外部顧客への売上高	1,947,537	10,443,877	1,706,897	—	14,098,311
セグメント間の内部 売上高又は振替高	42	—	480	—	522
計	1,947,579	10,443,877	1,707,377	—	14,098,833
セグメント利益又は損失 (△)	3,303	302,011	669	—	305,984
セグメント資産	574,496	3,757,233	322,215	—	4,653,945
その他の項目					
減価償却費	13,248	43,613	7,542	—	64,404
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	5,642	46,601	—	—	52,243

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
売上高				
外部顧客への売上高	6,875	14,105,187	—	14,105,187
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,413	11,935	△11,935	—
計	18,289	14,117,122	△11,935	14,105,187
セグメント利益又は損失(△)	△7,206	298,777	△53,607	245,170
セグメント資産	961,667	5,615,613	1,538,874	7,154,488
その他の項目				
減価償却費	—	64,404	17,490	81,895
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	—	52,243	18,828	71,072

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業及びその他の事業等を含んでおります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△53,607千円には、のれんの償却額△52,250千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,356千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額1,538,874千円には、セグメント間債権の相殺消去△1,404,652千円、各報告セグメントに配分していない本社資産2,943,526千円が含まれております。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額18,828千円は、本社管理設備への投資額であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高に区分した金額が連結損益計算書の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

主要な顧客に関する情報は、単一の外部顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の10%未満であるため、省略しております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高に区分した金額が連結損益計算書の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

主要な顧客に関する情報は、単一の外部顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の10%未満であるため、省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：千円)

	美容	和装宝飾	D S M	スポーツ	その他	全社・消去	合計
減損損失	20,258	19,831	—	—	—	7,626	47,716

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	美容	和装宝飾	D S M	スポーツ	その他	全社・消去	合計
減損損失	5,540	13,549	—	—	—	8,528	27,618

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：千円)

	美容	和装宝飾	D S M	スポーツ	その他	全社・消去	合計
(のれん)							
当期償却額	—	56,251	—	—	—	—	56,251
当期末残高	—	125,400	—	—	—	—	125,400

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	美容	和装宝飾	D S M	スポーツ	その他	全社・消去	合計
(のれん)							
当期償却額	6,650	45,600	—	—	—	—	52,250
当期末残高	37,686	79,800	—	—	—	—	117,486

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	46円86銭	44円40銭
1株当たり当期純利益	14円75銭	4円14銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 株主資本に自己株式として計上されている「株式給付信託(BBT)」に残存する自社の株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。また、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております。

前連結会計年度における1株当たり当期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数及び1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は164,000株であります。

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	502,243	141,068
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	502,243	141,068
期中平均株式数(千株)	34,040	34,040

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
1株当たり純資産額		
純資産の部の合計額(千円)	1,595,231	1,511,326
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
(うち非支配株主持分)(千円)	(—)	(—)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,595,231	1,511,326
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	34,040	34,040

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

(2019年6月27日付予定)

① 代表者取締役の変動

該当事項はありません。

② 取締役の変動

(新任取締役候補)

取締役常務執行役員 和装宝飾事業本部長	文字 孝一	(現 常務執行役員 和装宝飾事業本部長)
------------------------	-------	----------------------

取締役常務執行役員 きもの事業本部長	橋 眞吾	(現 常務執行役員 きもの事業本部長)
-----------------------	------	---------------------

取締役常務執行役員	高田 陽一	(現 常務執行役員 株式会社すずのき代表取締役社長)
-----------	-------	----------------------------

※同氏は引き続き株式会社すずのき代表取締役社長を兼務する予定です。

(退任予定取締役)

取締役専務執行役員 管理本部長	金木 俊明	(常勤監査役に就任予定)
--------------------	-------	--------------

③ 監査役の変動

(新任監査役候補)

常 勤 監 査 役	金木 俊明	(現 取締役専務執行役員 管理本部長)
-----------	-------	---------------------

(退任予定監査役)

常 勤 監 査 役	海津 隆行
-----------	-------